

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

研究・研修専門部会

日時：令和8年1月30日（金）

午後6時から

場所：Uji ふれあい教室

（旧木幡幼稚園 遊戯室）

＜次第＞

1 開会

2 あいさつ

3 研究・研修専門部会について

4 検討

来年度の研究・研修について

5 その他連絡事項

6 閉会

<資料>

ページ

① 研究・研修専門部会 部会員名簿	… 1
② 研究・研修専門部会について	… 2
③ 検討（来年度の研究・研修について）	… 4
○「今後希望する研究・研修内容」の意見集約	資料 1 … 8
○令和7年度の研究事業の形式イメージ	資料 2 … 9
○令和8年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画（案）	資料 3 (別添)

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会
研究・研修専門部会 部会員名簿

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	推進協議会 会長
	民間保育施設	宇治福祉園 理事長	杉本 一久	発達・子育ち 支援 部会員
	私立幼稚園	こざくら幼稚園 園長	松井 明恵	保幼こ小連携 部会員
	小学校	岡屋小学校 校長	杉本 俊惠	保幼こ小連携 部会員
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	ひいらぎこども園 園長	中田 純子	保幼こ小連携 部会員
	私立幼稚園	みのり幼稚園 主任	斎藤 あゆみ	発達・子育ち 支援 部会員
	公立保育所	木幡保育所 所長補佐	石川 千絵	発達・子育ち 支援 部会員
	公立幼稚園	ひがしうじ幼稚園 教務	宮本 弘子	保幼こ小連携 部会員

(合計8名)

研究・研修専門部会について

1 設置に至る背景・経過

(1) 令和5年度

令和6年度の研修計画の検討にあたり、施設類型を越えた子どもに関わる関係者で今後の乳幼児教育・保育に関わる人材育成のあり方を検討するため、推進協議会会長及び両専門部会から選出された部会員で構成する合同部会を開催

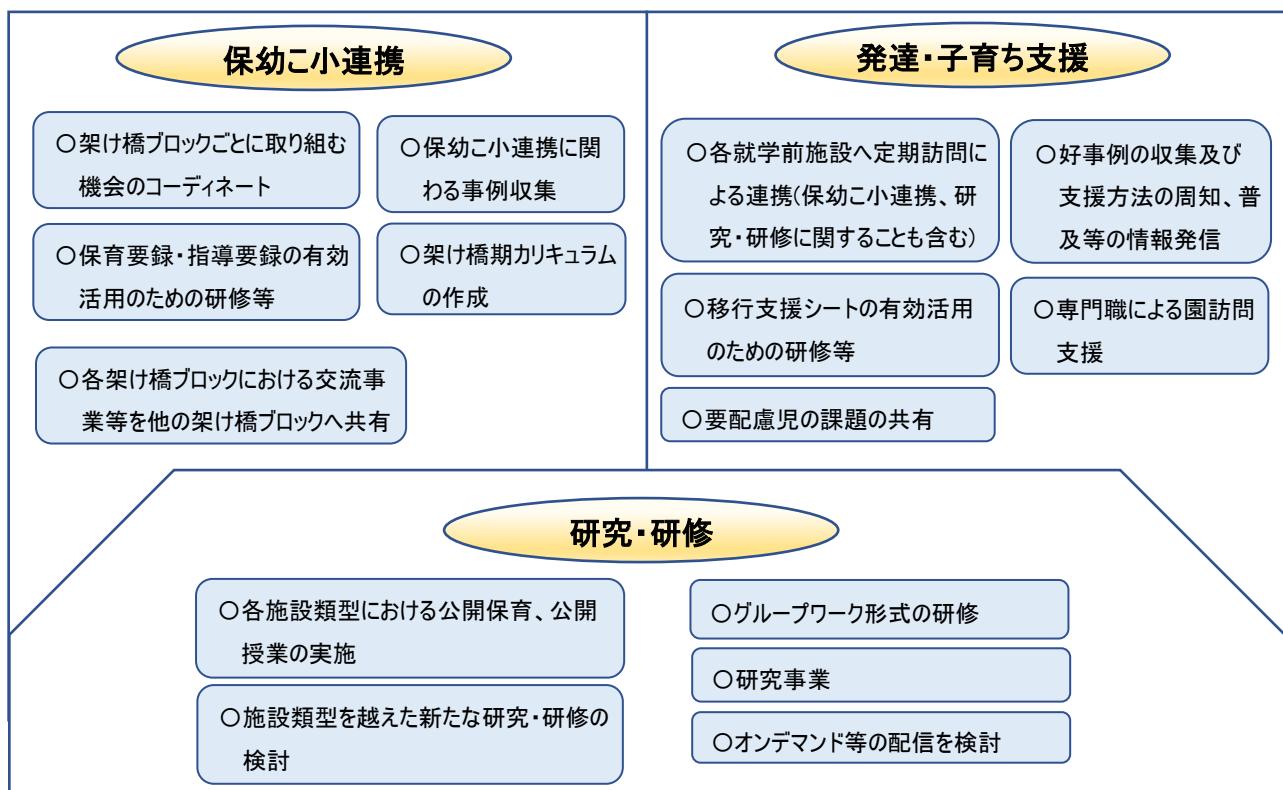
(2) 令和6年度～

人材育成のあり方等を継続的に検討する機関として、新たに「研究・研修専門部会」を設置し、人材育成に有効な手法や研究・研修を進めるに相応しいテーマなどについて検討を実施するために開催。部会員は、引き続き推進協議会会長及び両専門部会から選出された部会員で構成

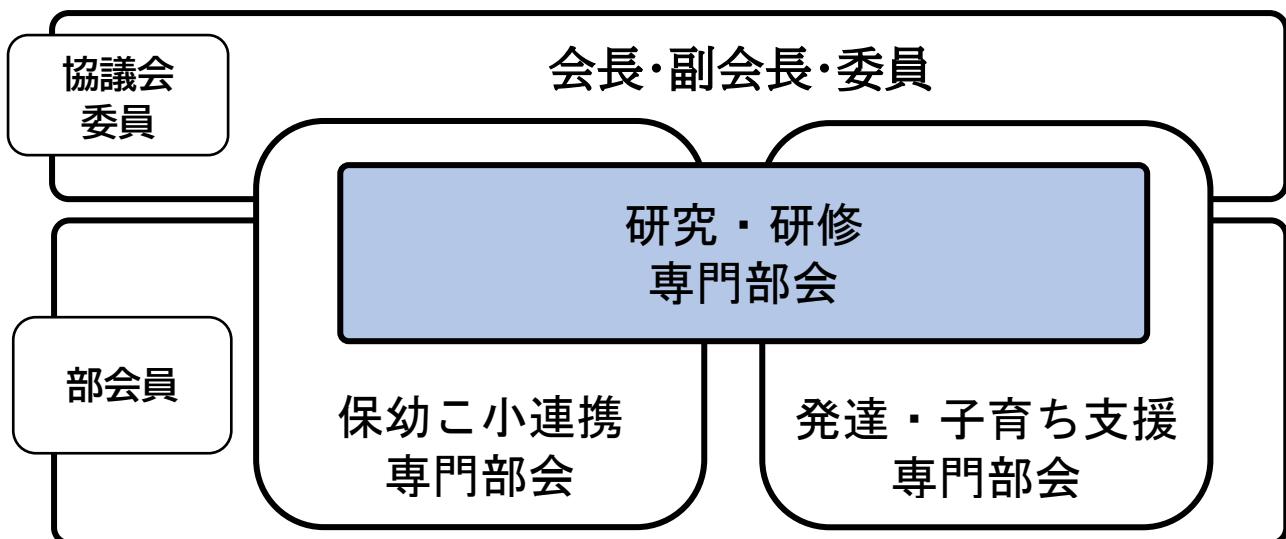
宇治市乳幼児教育・保育支援センター

施設類型を越えたネットワークの構築

(民間保育園・認定こども園、私立幼稚園、公立就学前施設、小学校、療育施設)



研究・研修専門部会の構成



2 専門部会の運営について

- (1) 次の理由により非公開とします。
- ア 事例研究などで、特定の個人を匿名扱いにしたとしてもなお、発言者により個人が特定されるおそれがあるため
- イ 部会員の方に積極的にご意見や提案をいただくという専門部会の趣旨を踏まえ、自由かつ率直な意見交換を確保するため

<参考>

○宇治市審議会等の会議の公開に関する指針（抜粋）

第3 審議会等の公開基準

審議会等は法令、条例等の規定により会議が非公開とされている場合を除き、公開するものとする。ただし、次のいずれかに該当する場合は、会議の全部又は一部を公開しないことができる。

- (1) 宇治市情報公開条例第6条各号の規定に該当する情報に関し、審議等をする場合
- (2) 会議を公開することにより、公正、円滑な審議等が著しく阻害され、会議の目的が達成されないと認められる場合

○宇治市情報公開条例（抜粋）

・第6条第2号

「個人に関する情報であって特定の個人を識別することができるもののうち通常他人に知られたくないと望むことが正当であると認められるもの又は特定の個人を識別することはできないが、公にすることにより、なお個人の権利利益を害するおそれがあるもの」

・第6条第4号

「本市等の内部又はその相互間における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、公正な意思形成に著しい支障が生ずるおそれのあるもの」

- (2) 検討した事項については、取りまとめの上、協議会において報告することとなるため、最終的には公開となります。
- (3) 開催の様子を写真撮影し、ホームページ等で掲載することがあります。
- (4) 会議録を作成するため会議内容を録音するとともに、会議録は協議会、専門部会及び事務局で共有します。

3 検討（来年度の研究・研修について）

次の＜検討をお願いしたい事項＞を中心に、保育士、教諭等の人材育成や乳幼児教育・保育の質の確保・向上について、管理職やミドルリーダー等の立場として各施設類型の状況や課題等を踏まえ、今、どのような研究・研修が必要か検討していただきますようお願いします。

＜検討をお願いしたい事項＞

【研修】

- (1) 令和8年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画(案)について
 - ・開催時期、テーマや内容、講師について など
- (2) 研修に参加できない園(校)や保育士・教諭等へのフォローについて
 - ・研修通信、オンデマンド配信以外の解決策(対面型研修に活用できる機会など)について
- (3) その他
 - ・学生の参加について など

【研究】

- (1) 令和8年度 計画(案)について
 - ・形式、テーマ、進め方について など
- (2) 研究成果及び全体への還元・普及方法について
 - ・成果物について など
- (3) その他

4. 令和7年度宇治市乳幼児教育・保育協働研修 参加状況

No.	月日	分野	テーマ	形式						講師	参加人数	保・公		幼・民		小・私		療・中	
				講演・解説	ビデオ	聴覚	報実告践	実技	授業・開業			保・公	協・開業	講師	参加人数	保・公	幼・民	小・私	疗・中
1	5/20	教育・保育の質の維持・向上	センター開設記念 基調講演 「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」	○	○	○				○ 佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科准教授	33	6	12	1	2	9	3		
2	5/27	保幼こ小連携	「1年生の教室環境を観て学び合う」	○	○	○				○ 幾馬 礼奈 京都府山城教育局指導主事	22	2	9	1	2	8			
3	6/23	保幼こ小連携	「宇治市のめざす教育・保育」 【管理職研修講座(学校教育課)と合同開催】	○	○	○				○ 乳幼児教育・保育支援センター長 教育総合推進センター長 宇治市立岡屋小学校長	49	6	11	1	2	19			
4	6/26	教育・保育の質の維持・向上	往還型研修Ⅰ 「子どもと 共につくる 教育・保育とは」【ひがしうじ幼稚園】	○		○		○	○	○ 佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科准教授	19	5	7	1	1	5			
5	7/4	発達・子育ち支援	「不登校の実態から ～乳幼児期にできること～」	○		○				○ 植えり 地域支援センター「サポートJOY」 地域コーディネーター 宇治市教育支援課指導主事	19	3	7	1	2	3	3		
6	7/11	保幼こ小連携	「スタートカリキュラムの改善Ⅰ」 【宇治市小学校教務主任会研修会と合同開催】	○		○				○ 幾馬 礼奈 京都府山城教育局指導主事	36	0	14	1	1	20			
7	7/15	発達・子育ち支援	「宇治市の フォローシステムについて学ぶ」	○						○ 宇治市保健推進課発達相談員 宇治市学校教育課指導主事	17	3	10	1	1	0	2		
8	7/28	保幼こ小連携	「育ちと学びをつなぐ」 【学力向上研究研修講座(学校教育課)と合同開催】			○				令和6年度宇治市教育研究員 ・授業づくり研究部 ・幼小中学びに向かう力研究部	52	0	6	0	1	31			
9	8/1	発達・子育ち支援	「特別な配慮を要する子どもへの 切れ目ない支援について -移行支援シート-」	○			○	○		○ 宇治市特別支援教育推進委員	21	3	12	1	2	2	1		
10	8/19	教育・保育の質の維持・向上	「子どもが主体的に 絵本に親しむための環境とは」	○			○	○		○ 西村 恵里香 東宇治図書館主任(図書館司書・絵本専門士)	16	3	10	1	1	0	1		
11	9/2	発達・子育ち支援	「0~1歳頃の子どもの発達について」	○						○ 服部 敬子 京都府立大学公共政策学部 教授	28	2	13	1	3	1	8		
12	9/10	発達・子育ち支援	「行動分析とカンファレンス」	○	○	○				○ 平松 玲夏 京都府立こども発達支援センター 診療課 作業療法士	20	1	10	1	1	0	7		
13	9/17	教育・保育の質の維持・向上	「子どもの主体的な力を育むための 環境とは」【大谷幼稚園】	○				○	○	○ 長澤 宗一 みのり幼稚園 園長 松井 明恵 ごくら幼稚園 園長	8	0	5	1	2				
14	10/28	教育・保育の質の維持・向上	「素材と出会う・感じる・生み出す」	○			○	○		○ 津田 純佳 アトリエリスタ 京都女子大学客員教授	17	2	11	1	2	0	1		
15	11/5	教育・保育の質の維持・向上	令和7年度研究園 『小さな発見を意味付けて 大きく育てる教育・保育の創造 -「じぶん」「ひと」「もの」の発見を通して-』【ひいらぎこども園】	○		○		○	○	○ 木下 光二 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 特命教授	27	1	21	1	2	2			
16	11/17	教育・保育の質の維持・向上	往還型研修Ⅱ 「子どもと 共につくる 教育・保育 とは」【ひがしうじ幼稚園】	○		○		○	○	○ 佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科准教授	16	6	5	1	1	3			
17	11/20	保幼こ小連携	「スタートカリキュラムの改善Ⅱ」 【宇治市小学校教務主任会研修会と合同開催】	○						○ 幾馬 礼奈 京都府山城教育局指導主事	29	0	11	1	2	15			
18	11/28	発達・子育ち支援	「インクルーシブ教育の理念の実現」 【多様な学びの場創造事業(学校教育課)と合同開催】	○		○		○	○	○ 星川 涼華 京都府立宇治支援学校 校長	30	1	8	1	1	17	2		
19	12/11	発達・子育ち支援	「乳幼児を育てている保護者への支援 について～意図の交流に着目して～」	○			○	○		○ 宇治市保健推進課発達相談員	18	2	8	1	2	0	5		
20	12/25	教育・保育の質の維持・向上	「生活力を育む保育 ～多国籍の子どもたちと共に育ちあう保育をめざして～」【大久保保育所】	○				○	○	○ 塩利枝子 同志社女子大学現代社会学部 現代こども学科 教授	16	3	8	1	1	3	0		
21	2/2	教育・保育の質の維持・向上	往還型研修Ⅲ 「子どもと 共につくる 教育・保育 とは」【ひがしうじ幼稚園】	○		○		○	○	○ 佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科准教授									
22	2/16	保幼こ小連携	「実践から学び合う」 【各架け橋ブロックの取組報告】	○		○				○ 古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科 教授									
合計													493	49	198	19	32	138	33
																	24		

(参考) 令和6年度宇治市乳幼児教育・保育協働研修 参加状況

No.	月日	分野	テーマ	形式					講師	参加人数	保・こ		幼		小	療育	
				講演 解説	聴 取 テ オ	報告 実 践	実 技	提 案 公 開			公	民	公	私			
1	5/28	教育・保育の質の維持・向上	「非認知能力の育ちにつながるアタッチメント（愛着）」	○		○			○ 佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科准教授	34	4	13	5	2	6	4	
2	6/6	発達・子育ち支援	「保護者の気持ちに寄り添う相談」	○					○ 保健推進課発達相談員	26	2	11	4	3	4	2	
3	7/16	発達・子育ち支援	「宇治市のフォローシステムについて学ぶ」	○					○ 保健推進課発達相談員	24	5	11	2	2	1	3	
4	7/22	教育・保育の質の維持・向上	「創造的な表現活動」	○		○			津田 純佳 府幼児教育アドバイザー	21	3	10	3	1	3	1	
5	7/30	保幼こ小連携	「保育要録・指導要録の書き方と活用の仕方」	○					○ 天花寺 裕 学校教育課 副課長(指導主事)	61	7	21	5	7	21	0	
6	8/23	発達・子育ち支援	「5歳ごろの子どもの発達と集団づくり」	○					服部 敬子 京都府立大学公共政策学部教授	31	4	9	5	4	1	8	
7	9/2	教育・保育の質の維持・向上	「身体表現遊び」	○		○			本山 益子 府幼児教育アドバイザー 京都文教大学 こども教育学部教授	14	2	6	2	1	2	1	
8	10/24	教育・保育の質の維持・向上	「絵本ではぐくむ子どもの感性」	○					西村 恵里香 東宇治図書館主任 (図書館司書・絵本専門士)	16	2	8	3	0	3	0	
9	11/12	保幼こ小連携	「子どもの主体性をはぐくむ環境構成や教師の関わり方とは」 (南部小学校)	○	○	○	○	○	小西 菜穂子 京都府山城教育局 指導主事	33	1	9	4	2	17	0	
10	11/27	教育・保育の質の維持・向上	「遊びや生活の中で、主体的に人やものと関わろうとするようになるための環境とは」 (東宇治幼稚園) 【京都教育大学協働研修と合同】	○	○	○	○	○	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科教授	43	1	6	11	4	20	1	
11	12/19	教育・保育の質の維持・向上	「ゆっくり ジっくり 子どもの心を育む環境や保育者の関わりとは」 (明星つ子こども園)	○				○	高倉 明子 明星つ子こども園 副園長	18	1	10	1	4	1	1	
12	1/21	教育・保育の質の維持・向上	「子どもの主体的な活動の積み重ねと小学校教育へのつながり」 (こざくら幼稚園) 【ECEQ®と同時開催】	○				○	長澤 宗一 ECEQ®コーディネーター 学校法人華学園みのり幼稚園園長	8	0	6	1	0	1	0	
13	2/21	保幼こ小連携	「幼児教育と小学校教育の接続期カリキュラム」	○	○			○	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科教授	60	7	18	4	7	21	3	
14	3/3	発達・子育ち支援	「支援者を支援するということ～ピアピジョンを通して～」	○		○		○	古田 直樹 保健推進課発達相談員	12	0	3	0	0	2	7	
合計											401	39	141	50	37	103	31

(1) 研修実施にあたっての改善項目

- ・往還型研修の実施
 - 研修で知識等を習得し、その内容を園(校)内で実践・検証した後、再び研修で実践結果を振り返り議論する等のサイクルを確立することで、実践力の向上・学びの深化・波及
- ・「ひがしうじ幼稚園」と連携した実践型研修会の実施
 - 具体的な子どもや保育者の姿、園の環境等を通して学び合い、共に見出したものを各園(校)の実践に活用
- ・対象者(教務主任・3歳児担任経験者等)や時期を限定した研修会の実施
 - 研修成果の明確化や協議の深化
- ・オンデマンド配信の活用
 - 研修内容について、施設類型問わず共有したい情報については、研修参加の有無に関わらず、周知・理解の定着
- ・福祉部局と教育部の垣根を越えた研修(管理職研修・教育研究員の実践報告・インクルーシブ教育の公開授業)の実施
 - 施設類型を問わず情報共有や学びを享受
- ・市立小学校及び幼稚園教諭が、乳幼児教育・保育協働研修会(3時間以上)をした場合、京都府総合教育センター研修講座と同様に単位を認定する研修として、京都府教育委員会に申請
 - 小学校教諭の協働研修会への意欲喚起、人材育成の支援、多忙化への対応

(2) 「今後希望する研究・研修内容」の意見集約 資料1

(3) 令和7年度の研究事業の形式イメージ 資料2

5. 令和8年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画(案) 資料3

○研究希望テーマ

区分	テーマ	人数
教育・保育の質の維持・向上	「主体的な姿」・「主体性をもてる子どもになるには」・「主体的な遊びや学び」・「子ども主体の教育・保育」について	23
	環境構成	15
	子どもへの関わり方、興味・関心への関わり方	10
	(年齢に合わせた)表現(製作・絵画・身体表現・絵本)	10
	各施設の保育・授業参観	9
	素材・教材研究	7
保幼こ小連携	外国籍の子どもについて(関わり方・保育実践等)	5
	保幼小をつなげる・子どもの期待感を高めるための取組・体験	19
	スタートカリキュラム・アプローチカリキュラム	16
	かけ橋期のカリキュラム・かけ橋プログラム・かけ橋期について	5
	配慮が必要な子どもへの支援の方法・集団生活について	20
	保護者対応・支援について	20
発達・子育ち支援	支援が必要な子どもの事例研究	7
	切れ目のない支援のための連携・特別支援教育の接続・インクルーシブ教育	5

○研修希望テーマ

区分	テーマ	人数
教育・保育の質の維持・向上	「幼児・児童の主体的な遊び・学び」「子どもの主体性を育てるためにはどうすればいいか」「子ども主体の教育・保育」について	17
	環境構成	10
	子どもへの言葉かけ・アプローチ・関わり方	7
	施設類型による違い(子どもの過ごし方等)	6
	絵本について	5
保幼こ小連携	保幼こ小のギャップをなくすための取組等・連携	23
	スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムについて	12
	小学校が就学前教育の教育・保育に求めること、就学前教育が小学校に求めていること	6
	小学校について(学び・生活・準備すること等)	5
発達・子育ち支援	保護者支援・保護者対応(つなげ方等)	27
	支援を要する子ども・グレーゾーンの子どもへの関わり方・支援の方法	21
	乳児期・幼児期の発達、障害について	11
	ケース会議・ケース検討	5
研修方式など	公開保育・公開授業	42
	グループワーク(エピソードの共有含む)	17
	実技研修(造形、リトミック、表現遊び、絵本読み聞かせ、自然物を使った絵の活動、デモンストレーションなど)	17
	他施設との交流	13
	宇治市が行っている発達に関する教室や療育施設の見学	7
	小学校教諭の就学前教育施設体験	5

令和7年度 乳幼児教育・保育に関する研究事業のイメージ

資料2

形式	個人チーム型	施設単独型	施設連携型
イメージ	<p>○各施設から推薦又は希望された個人がチームを組んで研究</p> <p>年数回の研究活動を行う</p> <p>センター</p>	<p>○施設単独で設定したテーマについて研究</p> <p>就学前施設</p> <p>単独の施設を指定し、連携して研究を行う</p> <p>センター</p>	<p>○施設連携して連携強化したい分野を研究</p> <p>連携する複数施設を指定し、連携して研究を行う</p> <p>センター</p>
研究園・校	民間保育園1・公立保育所5・私立幼1・公立幼1・認定こども園5・小学校6 計19名 【往還型研修参加者】	ひいらぎこども園	南部小学校【アドバイザー校】 (かおり幼稚園・ひがしうじ幼稚園)
研究テーマ	『子どもと 共につくる 教育・保育とは』	『小さな発見を意味付けて大きく育てる教育・保育の創造』 –「じぶん」「ひと」「もの」の発見を通して–	『育ちと学びをつなぎ主体的に考える児童の育成』 ～自立心・自己肯定感及び共同性に視点をあてて～ (幼小接続の視点を大切に、幼児期から切れ目ない発達に沿った学びの育成を図るための授業・環境づくりについて研究する)
全体への 還元・普及方法	<p>○第4・16・21回協働研修会 ・公開保育【往還型研修参加者のみ】 ・実践報告【往還型研修参加者のみ】</p> <p>○研修通信の発行</p>	<p>○第15回協働研修会 ・公開保育 ・実践報告</p> <p>○研修通信の発行</p>	<p>○第2回協働研修会 ・1年生の教室環境公開・実践報告</p> <p>○第22回協働研修会 ・実践報告</p> <p>◆山城地方「育ちと学びをつなぐ」連携会議 ・実践報告</p> <p>◆山城地方幼小接続推進研修会 ・実践報告</p>

令和8年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画（案）

資料3

対象者の目安となる時期等 初任期(1~6年)・中堅期(7~15年)・充実期(16年以降~)・管理職【あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です】

分野	No.	月日 (予定)	形式						テーマ・内容	対象者の目安			
			講演・解説	ビデオ	報告実践	実技	公開授業	協議会		初任	中堅	充実	管理
教育・保育の質の確保・向上	1	4月頃	○					○	「宇治市の乳幼児教育・保育について語り合う」 ～ともに生きて ともに育ち ともにつながる～ パネルディスカッション ※パネリストによる提案・聴衆との質疑応答				
	2				○			○	「絵本ではぐくむ子どもの感性Ⅲ」～面展台をつくろう～ 子どもから大人まで絵本の楽しさを味わえるような環境づくりについて学び合う。				
	3				○			○	「乳幼児期の身体づくり」 乳幼児期の身体づくりの重要性について実技と講演から学び合う。				
保幼こそ小連携	4	4月頃	○					○	「令和8年度宇治市のめざす教育・保育」 ※宇治市教職員研修 管理職研修講座と合同実施 乳幼児教育・保育支援センターや教育総合推進センターがめざす教育・保育について共有し、連続性や系統性のある教育・保育について語り合う。架け橋ブロック顔合わせを行う。		◎	☆	
	5	5月頃		○				○	「スタートカリキュラムの実践」 新しいスタートカリキュラムの実践について交流し深め合う。（対象を教務主任・1年生担任とし、乳幼児単独の研修会として実施）			☆	
	6	7月頃		○				○	「育ちと学びをつなぐⅡ」※宇治市教職員研修 学力向上研究研修講座と合同実施 宇治市教育研究員の研究報告を通して、就学前施設は、小学校以降の教育を見通しながらその基盤となる資質・能力を育成していくことを、小学校は、幼児教育施設で育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施することについて学び合う。			☆	
	7	10~11月頃			○	○		○	「小学校の授業から学び合う」 宇治市小学校教育研究会生活部会の授業参観・事後研究会と合同実施に向けて要調整			☆	
	8		○					○	「交流事業から学び合う」 交流事業の様子を視聴し、その後の意見交換を通して学び合う。				
	9	2月頃		○				○	「実践報告から学び合うⅣ」 今年度における各ブロックの取組の振り返りと次年度に向けた話し合いをする。			☆	
	10	6月頃	○					○	「令和8年度 宇治市のフォローシステム」 発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する宇治市の就学前のフォローシステムについて学び合う。	◎			
	11			○	○			○	「移行支援シートⅡ」～切れ目ない支援をめざして～ 令和7年度に移行支援シートを作成した園から作成や活用のポイントを学ぶ。				
発達・子育ち支援	12	7月頃	○					○	「不登校の現状と支援から幼児期を考えるⅡ」～登園しぶり～ 小中学校の不登校の現状から、幼児期に配慮すべきこと等について具体例を通して学び合う。				
	13	8~9月頃	○					○	「子どもの発達についてⅡ」～1歳から2歳頃～ 乳幼児期の発達段階を学び、その時期の子どもへの関わりを学ぶ。				
	14			○				○	「家庭への支援」～切れ目ない支援をめざして～ 家庭教育アドバイザーの活動を通して、就学前から就学後にわたって切れ目のない家庭への支援について学び合う。				
	15		○					○	「インクルーシブ教育の理念の実現Ⅱ」 「全ての子どもが大切にされ、誰一人取り残されない」教育・保育の実現に向けて、「宇治市多様な学びの場創造事業」の研究成果を踏まえて学び合う。				
	16				○			○	「保護者支援についてⅡ」 保護者の思いに寄り添い、支援していく姿勢について学び合う。				
	17		○					○	「ギフテッドの子ども達」 ～特定分野に特異な才能のある幼児児童～ ギフテッドの子ども達を理解するために学び合う。				

令和8年度 研究・実践発表

分野	No.	月日	形式						内容	対象の目安			
教育維持・保育の質の向上	1		○		○		○	○	令和8年度 研究園Ⅰ ※手挙げ方式 研究園の公開保育と実践発表、研究協議等を通して学び合う。				
	2		○		○		○	○	令和8年度 研究園Ⅱ ※手挙げ方式 研究園の公開保育と実践発表、研究協議等を通して学び合う。				
	3		○		○		○	○	令和8年度 研究園Ⅲ ※手挙げ方式 研究園の公開保育と実践発表、研究協議等を通して学び合う。				